発　　言　　通　　告　　書

令和　8 年　2 月 26 日

松山市議会議長　　原　　俊　司　　殿

松山市議会議員　　**池　本　俊　英**

次のとおり通告します。

発言順位	3	受領日時	2 月　26 日　午前・午後　9 時　50 分		1　枚中　1　枚目
質問等の方式	一問一答方式　・　一括方式			発言時間	約　30　分
答弁を求める者	・市長　・教育長　・選挙管理委員会委員長　・公平委員会委員長 ・農業委員会会長　・監査委員　・公営企業管理者				

No	件　　名	発　言　の　要　旨
1	**公共施設における民間活力の戦略的活用について**	(1)民間活力の導入について、民間活力の多様な手法を本市の公共施設マネジメントの中でどのように位置づけ、戦略的に使い分けているかを問う。
		(2)サウンディング型市場調査について
		①本市における現状と評価を問う。
		②本格的な事業化や恒久的な民間活力の導入へと今後どのように昇華させていく考えか、具体的な展望を問う。
		(3)民間活力の高度化について、さらなる手法の多様化とサウンディング調査の全庁的な横断活用が不可欠と考えるが、市長の決意を問う。
2	**ハイムインゼルごごしまについて**	(1)これまでの定住状況と現在の入居状況について
		(2)入居者の確保や定住に向けた取組について
3	**松山観光港への鉄道延伸について**	松山観光港への鉄道延伸を単なる中期課題で終わらせるのではなく、本市の将来を描く大きなビジョンの中核に捉え、具体的に一歩前へ進めるべきと考える。四国、瀬戸内の拠点都市として、本市の価値を最大化させるための鉄道延伸に向けた市長の決意を問う。